



うま やかた てん き せん 馬の館の伝馬船

都井岬四季報通信

都井岬ビジターセンター・企画編集

2010年 10月発行 Vol.14

電話・FAX:0987-76-1546

宮崎県串間市大字大納 42-1

月曜休館日 開館時間 9:00~17:15

魅力探訪

草原の縞々模様

都井岬の風も涼しくなり、ようやく秋です。芝生の色も少しずつ変わり始めています。馬は冬に備えて、黙々と肥ゆる秋。夕暮れの岬は、とても風情があります。写真の奥に見えるのは斜面にできた段々模様。これは馬道(うまみち)と呼ばれます。馬たちが何年もかけて踏み込み形成された馬の道。その斜面の斜度に対応し、最も効率よく草を食べられる幅で道ができるといわれ、まるで地図の等高線のようにです。



咲いた咲いた 季節の動植物

沿岸を散策して歩くと、革製品のように厚くゴワゴワした木の葉を見かけます。この樹木、名前はハマビワ(浜枇杷) 沿岸に生える枇杷のような葉の木、という意味なのでしょうが、形はあまりビワに似ていないかな? 葉の裏を観察すると、茶色い毛が生えています。ここがビワと名付けた所以でしょうか。9~10月に花を咲かせます。美味しくなさそうな葉ですが餌の少ない冬季に限り、馬も少し食べることがあるようで、食跡が付きます。



野

生馬の岬で

働いている地元スタッフが旬の話題をお届けします☆
四季彩々の表情をもつ岬を身近な目線からお伝えする
都井岬四季報です

馬なり日々の

スタッフコラム

初めて都井岬を訪れる方々は、野生馬が人と生活の場を共有しながら過ごす光景に感激し、感動さえ覚えると話されます。人が生きものに対して感じる慈愛精神。その典型的な体験が、都井岬での人と馬との交流にあるのでしょうか。観光案内所は、都井岬の愛情を感じて頂きたく乗馬体験を開始しました。

天馬と雄飛、2頭の岬馬との優しさ交流! 都井岬の新しい感動体験です。乗馬しながら素敵な秋を過ごしませんか?

都井岬観光案内所

電話: 0987-76-1230



館の掲示板

~ビジターセンター便り~

岬馬そのものには感染しない口蹄疫ですが、意外なところで影響が出ました。毎年恒例の都井岬・駒追い作業。岬馬に感染した寄生虫を駆除する大切な作業ですが、これに参加する獣医さんが、みんな口蹄疫の対応に追われて、例年通りの5月実施が不可能となってしまい、この10月30日ようやく実施となります。広大な草原で馬を捕獲するのは大変な作業! 涼しい秋の方が良いかもしれませんね(笑)

子馬たちは、採血して遺伝子を調査します。親子関係を解析して、家系図を作ります

